



# 照明探偵団通信

vol. 136 Shomei Tanteidan Tsu-shin

■海外都市照明調査

ベトナム ハノイ

2024.11.21 - 11.24

劉 伝燿 + 蔣 坤志

■ Lighting Detectives x Glow Shenzhen

2024.12.19

Hu Lin + Xianyu Liu + Huangyi Lin

■年間活動報告会

2025.1.16

東 悟子



ハノイ ロッテタワーからの夜景

# 都市調査：ベトナム ハノイ

2024.11.21-24 劉伝熠 + 蔣坤志

歴史と現代が融合するベトナムの首都、ハノイ。その豊かな文化的背景により、東南アジア屈指の観光地としての地位を確立している。旧市街や聖ヨゼフ大聖堂、ロッテタワーなど新旧が交錯するこの都市で、光を通じてハノイの夜景文化を掘り下げていく。

人口一億人の大国、ベトナム。ハノイはその首都として政治・文化・経済の中心を担い、重要な交通拠点にもなっている。2020年7月、ベトナム政府は夜間経済の発展を促進する政策方針として、第1129号決定を発表。ハノイをその試験都市に指定した。豊富な遺産や独自の文化芸術が、ハノイのナイトツーリズムの発展に有利な要因となっている。

ハノイの都市照明は、地域や用途ごとに明確な個性が感じられる。旧市街では狭い路地や古い建物が並び、夜市が賑やかな雰囲気を作り出している。夜間の照明は主に各店舗が趣向を凝らした装飾ライトで構成され、その活気を一層引き立てている。一方、ホアンキエム湖周辺では、水面に映る柔らかな光と湖中央に佇む亀の塔へのライトアップが調和し、静かで穏やかな景色を作り出している。

新市街では、現代的な建築物のファサード照明や明るいLEDライトが、モダンで洗練された都市の姿を演出している。さらに、動きのあるライトアップがその活気を一層際立たせている。

観光客の集まる夜市や商業エリアには、ハノイ特有の活気とエネルギーが溢れている。カラフルなネオンライトや看板照明、多彩な装飾照明が街全体を照らし出し、ハノイの夜間経済の躍動感を象徴している。しかし一部のエリアでは、高輝度の看板照明や過剰な装飾照明が、視覚的な疲労や光害を招くことが懸念される。次からはエリアごとに詳細な分析を示す。（蔣坤志）

## ■ トレインストリート

ハノイのトレインストリートは、狭い路地を列車が通過するユニークな観光スポットである。日中のトレインストリートは、ハノイ旧市街の中でもひととき庶民的で、地元民の生活を身近に感じられる場所として知られる。線路の両側には住居やカフェが立ち並び、訪れる観光客は地元住民のユニークなライフスタイルを間近に見ることができる。自然光と通りの装飾が調和し、陽光がレールに差し込む様子は、ここだけの特別な情緒を醸し出している。賑やかな雰囲気が漂う一方で、現役の鉄道が通過する狭い通りであるため、安全面での懸念も残る。

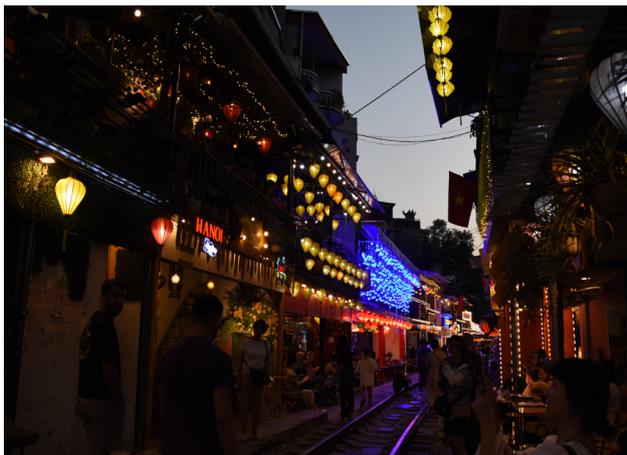
夜間の照明は高色温度から低色温度、さらにはRGBライトまでもが入り混じる。全体的な色温度はおおよそ5000Kで、主な光源は沿道のカフェや屋台に設置された装飾用ライトだ。ネオンサイン、ランタン、看板のライトボックス、樹木に吊り下げられた小型のドット照明が通りを彩り、機能性と装飾性の両方を兼ね備えた光を提供している。しかし、装飾照明の多くは簡易な作りで、裸電球がそのまま使用されている場合がほとんど。過剰な使用も目立っていた。また周辺の他の通りと比べて圧倒的に明るく、そのコントラストの視覚的なインパクトが



ホアンキエム湖 中央に見えるのが亀の塔



夜も賑わうトレインストリート



夕暮れ時のトレインストリート



トレインストリートのカラフルな装飾照明

際立っていた。この明暗差がトレインストリート  
の夜の景観に特別な個性を与え、唯一無二の  
魅力あるスポットになっているようだ。(蔣坤志)

#### ■ 旧市街

昼間の旧市街は、その狭い路地と伝統的な建築  
で知られる、ハノイの歴史と文化を凝縮したよ  
うな場所である。街には伝統工芸品や衣料、ベ  
トナム料理の商店が軒を連ねており、濃厚なベ  
トナムの空気を体感できる。陽光の中、活気あ  
ふれる街並みは、訪れる人々にハノイ特有の文  
化的魅力を感じさせる。混沌としながらも、こ  
の街ならではのリズムが息づいているのだ。

一方で、日没後の旧市街は別の表情を見せる。  
ネオンサインや看板照明、夜市の屋台が街を彩  
り、色彩豊かな光景を作り出す。バラエティ豊  
かな照明が街並みのアクセントとなっ  
てはいるが、光の分布が不均一。そのため一部のエリア  
では明るさが過剰になっており、視覚的な疲労  
を招く可能性がある。ネオンや看板照明を多用  
した結果、夜の旧市街は活気に満ちつつも雑然  
とした印象になってしまっていた。(劉伝燿)

#### ■ 新市街

新市街には、ハノイのモダンな一面を象徴する  
ような、洗練された都市景観が広がっている。  
広々とした道路やガラス張りの高層ビルが立ち  
並び、自然光がガラス面に反射することで建物  
に奥行きが生まれ、街全体が明るく爽やかな雰  
囲気に包まれていた。

夜になると、ファサードを彩るクールトーンの  
ライトアップで、さらにそのモダンさが強調さ  
れる。動きのある演出照明と建物のラインが巧  
みに融合し、建物に躍動感を与えているが、一  
部の建物では照明デザインに工夫が見られず、  
外壁の照明器具の破損やメンテナンス不足が目  
立つ。また色温度にもばらつきがあり、それが  
街全体の夜景の統一感を損ねてしまっている。  
新市街の象徴的であるロッテタワーは、動きの  
あるライトアップと多彩なカラーチェンジを駆  
使し、夜景のアクセントとなっている。特にタ  
ワーのクラウン照明は、街の夜空を鮮やかに彩  
り、人々の視線を惹きつける。しかし、メンテ  
ナンス不足により、一部の照明が消えていたり、  
色温度が統一されていない箇所があるのは改善  
すべき点だ。ロッテタワーの展望台から眺める  
夜景は、ハノイの活気と繁栄を象徴するかのよ  
う。ハノイの街全体が煌めく光の海のごとく広  
がっていた。(劉伝燿)

#### ■ 聖ヨセフ大聖堂

聖ヨセフ大聖堂は、ハノイを代表するゴシック  
建築のひとつで、その尖塔やアーチ型の窓には  
フランス植民地時代の影響が色濃く反映されて  
いる。昼間は太陽光が建物の繊細で美しいディ  
テールを一層際立たせていた。広場を取り囲む  
ようにカフェや工芸品店が点在し、訪れる人々  
に穏やかで文化的なひとときを提供し、聖堂を  
中心とした風景に更なる奥行きを与えている。  
夜になると、聖堂は暖色系のライトアップによ  
って、荘厳さと神聖さを一段と際立たせる。尖塔  
や窓の装飾が照明の演出で際立ち、訪れる人々



旧市街(昼)



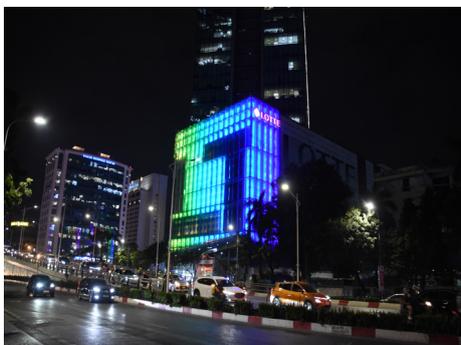
旧市街(夜)



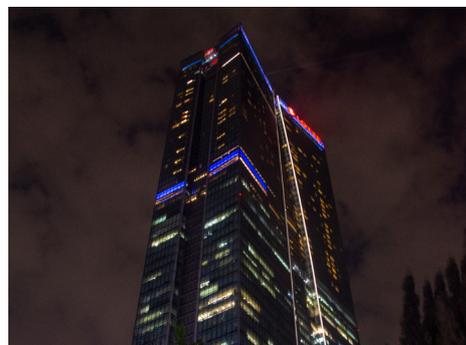
旧市街中心エリア



旧市街



広い通りにモダンな建物が並ぶ新市街



新市街の象徴的存在、ロッテタワー



聖ヨセフ大聖堂広場



昼と夜で表情が変わる聖ヨセフ大聖堂

の視線を引きつけるが、広場全体の照明は統一  
感を欠いている。周囲の店舗から漏れる光は雑  
然とした印象を与え、広場のメインの照明も高  
色温度の大型投光器に依存しているため、部分  
的に明るさが不足したエリアが目立っていた。  
それにもかかわらず、聖堂そのものが放つ光に  
は重厚な歴史の息吹が宿り、訪れる人々に深い  
感銘を与える。夜空に映えるその姿は、ハノイ  
の歴史と文化を象徴するランドマークとして、  
静かに街の夜景を彩っている。(蔣坤志)

#### ■ まとめ

ハノイの夜景の魅力は、歴史あるランドマーク  
と現代建築が織りなす光と影のコントラストに  
ある。聖ヨセフ大聖堂や亀の塔といった歴史的  
建築物は、暖色系の照明に照らされ荘厳で深い

趣がある。一方現代建築は、洗練されたデザイ  
ンと鮮やかな照明で都市の活力を象徴するよう  
な印象だ。この融合により、伝統と革新が調和  
する、ハノイならではの都市風景が生まれてい  
る。またホアンキエム湖の夜景は、静かな湖面  
と賑やかな夜市の対比が特徴的で、自然と人工  
の光が織り成す美しさが見る人を楽しませる。  
ネオンや看板照明はこの街に活気をもたらす一  
方、光害や過剰な照明が課題として浮き彫り  
になっていた。

ハノイの夜景は、歴史と文化が息づく風景であ  
り、都市の個性を映し出している。街を照らす  
柔らかな光が建物を静かに彩り、訪れる人々に  
穏やかな夜の景色を楽しませてくれる。(劉伝燿)

# Lighting Detectives x Glow Shenzhen

Hide and Seek with Light, a reflective art workshop  
2024.12.19 Hu Lin + Xianyu Liu + Huangyi Lin

On 19 December 2024, Lighting Detectives returned to Shenzhen, promoting sustainable urban design and light pollution awareness through creative community art. Eighty participants from diverse backgrounds gathered in Lianhua Mountain Park and transformed into "light artists".

After a five-year absence, on 2024 Dec. 19th, the Lighting Detectives returned to Shenzhen with a creative public event, Glow Shenzhen, claiming the First Gold Award in Glow Shenzhen 2024's Infinite Illumination program.

Collaborating with China Academy Of Urban Planning & Design Shenzhen Branch and Shenzhen Illuminating Engineering Society, the workshop focused on combating light pollution and preserving natural darkness in urban environments. Eighty participants from diverse backgrounds gathered in Lianhua Mountain Park and transformed into "light artists" through hands-on experiments. Using adjustable handheld flashlight and reflective materials, we explored the delicate balance between illumination and darkness, crafting temporary art installations with eco-friendly red lighting.

Before the creative phase, organizers held a brief introductory lecture under the dome outlining the event's core objectives. Our chief, Mr. Mende and Ms. Kasai shared the founding story of the Lighting Detectives and the past initiatives, particularly Shenzhen Nightscape 2030 event from five years ago. Attendees showed particular interest in signature programs such as Light Up Ninja, Night Walk and Children's Workshop. At the end of the lecture, Mr. Lin Hu demonstrated the unique properties of different materials and guided participants through creative techniques.

During the workshop, participants were divided into several small groups and given three hours to create artworks. The methods of creation, materials used, and ways of presentation varied, offering a great deal of diversity. Through painting, pasting, and weaving, participants created unexpected and wonderful artworks. Even two artists specializing in paper cutting created stunning patterns. The passion of the participants exceeds anyone's imagination.

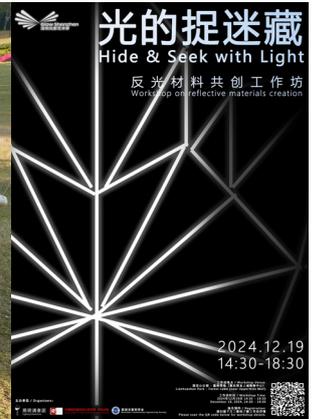
When the artwork was finished, the sky began to darken, and we took a group photo under the twilight group by group.

In the end of creating phase, we each placed our works in the dark environment of Lianhua Mountain Park. Together, we explored and admired these beautiful artworks in the darkness. It became a part of the city's public space, available for citizens to explore and enjoy.

This is the highlight which is a collaborative light-



Group Photo Taking



The Poster of the Activity



The Lecture Introducing History of Lighting Detectives



The Little Artists Painting



Creating by Cutting and Pasting



The Participants from Different Background

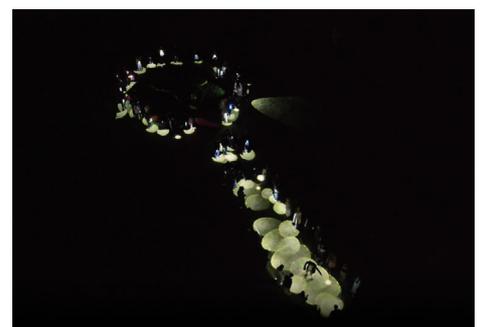
art masterpiece - an expansive scroll blending shadows and light. This interactive project not only demonstrated how responsible lighting can enhance urban aesthetics, but also encouraged participants to re-examine city spaces through creative play. The activity proposed fresh ideas for balancing urban development with environmental protection.

We also took a group photo in the dark, just like we did 5 years ago, during the Shenzhen Nightscape 2030 activity, in the form of the Lighting Detectives' logo!

By merging art, ecology, and community co-creation, Hide and Seek with Light illuminated new pathways for sustainable urban design, earning recognition as a standout initiative in Glow Shenzhen's Infinite Illumination program.



Seeking with Light in the Dark!



Group Photo as the Logo of Lighting Detectives

# 年間活動報告会

2025.01.16 東悟子

月島のスペイン料理店を貸し切り、2024年の探偵団活動を振り返る会を開催しました。まず東から街歩きやこどもワークショップ、出張探偵団や各地の調査を簡単に報告。その後、2024年最後に行った神楽坂街歩きと都市調査からは釜山調査を詳しく各担当者から発表し、最後に参加者に2025年の街歩きなどへの希望を伺いました。

釜山調査の発表では窪田団員から、活気に満ちた市場の様子や、LED照明への置き換えが進みインスタ映えの危機に見まわっている甘川文化村エリア、そして対照的な2つのビーチ（波打ち際まで煌々と照らされた海雲台ビーチと、ビーチへの照明はないものの周辺の繁華街の看板や漏れ光で十分に明るくなっている広安里ビーチ）などの紹介がありました。

2班に分かれて行った神楽坂のレビューでは、各班のリーダーを務めた小谷団員と俵田団員から報告がありました。

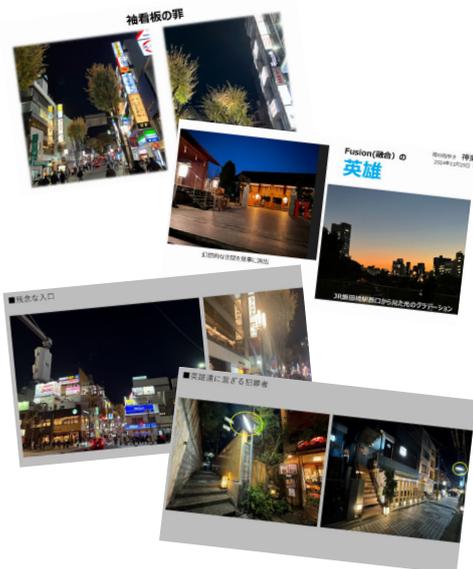
1班の小谷団員は、『神楽坂路地三昧コース』と題して路地裏を中心に歩いたことを報告。1班の参加者は、飯田橋から神楽坂を目指して歩いて行くと、入り口には煌々とした看板照明が多く、神楽坂のイメージとかけ離れていたこと、しかし路地に入ると、それぞれの飲食店が照明に工夫を凝らしており、照明への感度が高い街だと感じたそう。所々に出現する白く眩しい街路灯や、明るすぎる広告を流し続けるメディア看板は残念に思ったとのことでした。

俵田団員率いる2班は『路地・商店街コース』として、神楽坂の奥の方までを調査したとのこと。繁華街のビル群にあるような看板、賑わいを演出するためとはいえ街路樹をピンクや緑で照らすカラーライティング、車道と歩道で色温度の異なる街路灯の是非などが報告されました。歴史ある神楽坂の夜は、雰囲気の良い暗がりがある、歩いていて心地よい路地であってほしい。その期待に反するものは“No”という意見だったようです。

2025年の街歩きへの希望で挙がったエリアは、新しく街開きが行われる高輪ゲートウェイシティや芝浦、川崎の工場夜景、天王洲、表参道から渋谷、吉祥寺、中野などでした。東京から離れた街では、大阪万博、大阪うめきた、神戸などの関西エリアや、星空が満喫できる田舎、火祭りが花火を見たいという意見も挙がりました。

参加者全員からもっと多くの意見を伺いたかったのですが、2時間では短すぎたのか、話す内容が多かったのか、全員の意見は聞くことができず、深いところまでお話しができませんでした。次回からは3時間は必要だと感じました。

1年の始まりに団員に集まっていた頂き、これからどのような活動していきたいか話し合うのはとても新鮮で良い機会でした。これから企画メンバー（SQUADD）と協議し、楽しく有意義な街歩きを計画しようと思います。今年の探偵団の活動にもご期待ください。（東悟子）



毎年年末に探偵団協賛各社の方と団員と合同で年間活動報告会を開催していましたが、今年は分けて開催。団員の方の2025年活動への希望もゆっくり聞く会にしたかったのですが、話す内容が多く、あっという間の2時間となりました。



月島のスペイン料理展を貸し切り、報告会。団員 24 名が参加。



みんなで乾杯！



京都から駆け付けてくれた団員も



お店の前で集合写真

【照明探偵団の活動は以下の 27 社にご協賛頂いております。】

ルートロンアスカ株式会社  
ウシオライティング株式会社  
岩崎電気株式会社  
スタンレー電気株式会社  
株式会社 Luci  
株式会社遠藤照明  
カラーキネティクス・ジャパン株式会社  
パナソニック株式会社  
ERCO / ライトアンドリヒト株式会社  
大光電機株式会社  
株式会社 Modulex  
エイテックス株式会社  
東芝ライテック株式会社  
コイズミ照明株式会社  
株式会社ネオ・ストラクト  
シグニファイジャパン合同会社  
湘南工作販売株式会社  
トキ・コーポレーション株式会社  
株式会社レイオス  
DN ライティング株式会社  
株式会社 YAMAGIWA  
山田照明株式会社  
ルイスポールセン ジャパン株式会社  
三菱電機照明株式会社  
株式会社 FEELUX JAPAN  
日亜化学工業株式会社  
ナカ工業株式会社



探偵団通信に関してのご意見・ご感想等随時受付中です！  
お気軽に事務局までご連絡ください。